

さぬき

《発行元》 社会福祉法人弘善会 児童養護施設讃岐学園

〒761-0322 香川県高松市前田東町569-2 TEL (087)847-5171 FAX (087)847-5173

ホームページ <https://www.kouzenkai.jp/> e-mail sanukigakuen@kouzenkai.jp

【題字】 真言宗善通寺派前管長 極原禅隆 大僧正

【讃岐学園の理念】 濟世利人（さいせいりにん）

世の中を救い、人々に利益を施すこと、これが弘法大師の願いであり活動です。



本町本若のみなさん

さいかい

うれしい
再開&再会

コロナ禍中止になっていた慰問が再開!! この時期ならではの行事を満喫しました。

ありがとう



とっても
楽しかったです!

露天商組合のみなさん



くじ引き・わなげ・たこ焼き・焼きそば・あんぱんまんカステラ…大好きなものたくさん



コロナウィルス感染症の 5 類引き下げに伴い、讃岐学園でも、基本的な感染防止対策を継続しながら、少しずつ園内行事や慰問・ボランティアさんとの交流を再開しています。まだ、コロナ前の様に大々的には行きませんが、日頃から園児を気にかけて支援して下さる皆さま、また、今後の交流を望んで下さっている方々とのふれあいの機会を、これから徐々に増やしていきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。



MEMORY

R5.6~10

6.24 一日園長先生をお迎えして



人形のあづま・上中専務を

お招きし、あづまのスタッフの皆さんも加わって、子どもたちとの触れ合い行事を行いました。



7.31~8.2 讃岐学園大移動 in 淡路島

なかまと過ごす 特別な時間



2月のこどもアンケートでは、Q.「コロナが落ち着いたら一番やりたい事は？」→A.「1泊旅行!!」が圧倒的意見でした。公益財団法人砂原児童基金様にご支援を得て、願いが叶い、夏休みの良い思い出が出来ました。



ワラビーさん、こんにちは



アトラクションを満喫!!



パン作りにチャレンジ。楽しかったよ。

中小企業同友会第八支部のみなさんとゲームやお話しを通して『働く』ことについて学んだよ



おいしいご飯も一緒に頂きました。



7.24 防犯学習会



高松東署・生活安全課多田課長 県警察本部安全・安心まちづくり教育隊・逢坂さんに、「スマホ・SNSの適切な使用」や「夏休みを安全に過ごす為の防犯」についてお話をうかがいました。

遊んではかりじゃありません



令和 4 年度の苦情処理の状況
 < 権利擁護と苦情への取り組み >

内容	対応と結果	件数
○ 友だち関係 ・低学年児がうるさい ・気が合わない	・投函がある度に、FE 会(児童自治会)で、その都度ルールを話し合っている。 ・職員の見守りにより、お互いの距離を取る。	5
○ 職員との関係 ・職員が自分に冷たい ・職員がイライラし、子どもが我慢している ・職員の対応に不満がある ・他児の職員への態度がよくない	・職員と子どもで話し合いの場をもつ。 ・本人の気持ちをよく聞いて話し合う。 ・児相ワーカーや心理司同席の元職員と話し合う。継続して、児相心理司の支援を得る ・園長が子どもと職員に聞き取りをする。	5
○ 要望 ・WiFi が使いたい ・スマホ持ちたい	・WiFi は整備したが、小学生が課金ゲームの参加希望の為、認められない事を伝えた。 ・スマホルールに則って、中学生は持てない。気持ちを聞いて欲しかっただけ。	2
○ その他 ・生活の不満 ・ルール見直し	・FE 会で、TV の使い方、公共场所の片づけの仕方等話し合う。 ・ルール変更については、主任会で相談し、可能な限り子どもの希望に添った対応を心掛けた。	3

子どもとの信頼関係をより一層深め、権利擁護意識を醸成するため、職員会議の冒頭に「全国児童養護施設協議会倫理綱領」を読み合わせ、FE 会(子ども自治会)を定期的に行うなど、子どもの権利擁護と職員の意識向上に努めました。

いつでも、どこでも気軽に相談ができるよう、幼・小・中学校教諭を苦情解決第三者委員に委嘱して、「悩み相談、安心、なんでも受付箱(苦情箱)」を各グループに設置するとともに、子ども女性相談センターなどの連絡先を掲示し、相談機関を周知しました。

4 年度は、投函数が前年度の 3 分の 1 以下になっています。前年度は、特定女児 1 名が 30 件近く投函(施設や職員への不満など)していましたが、職員が辛抱強く向き合った結果だと思えます。また 4 年度の特徴としては、15 件の投函のうち、これまであまり利用のなかった男児からの投函が 10 件ありました。不満だけでなく、ルール改正など建設的な発信があったことも、良かったことです。

更に、生活担当職員だけでなく、児童相談所のワーカー、心理司との面接も積極的に活用し、広く意見を聞き合う機会としています。1 回のお話で解決するものばかりではなく、継続、反復しながら取り組んでいるところです。



令和 4 年度 事業活動計算書

R4.4.1~R5.3.31

勘定科目	決算額
児童福祉事業収益	251,620,728
措置費収益	238,773,272
その他の事業収益	12,847,456
経常経費寄附金収益	1,434,800
サービス活動収益計①	253,055,528
人件費	155,990,060
事業費	44,671,400
事務費	11,406,949
減価償却費	26,553,088
国庫補助金等特別積立金取崩額	-16,786,347
サービス活動費用計②	221,835,150
サービス活動増減差額③(①-②)	31,220,378
サービス活動外収益計④	1,630,432
サービス活動外費用計⑤	1,437,300
サービス活動外増減差額⑥(④-⑤)	193,132
経常増減差額⑦(③+⑥)	31,413,510
特別収益計⑧	0
特別費用計⑨	2,027,419
特別増減差額⑩(⑧-⑨)	-2,027,419
当期活動増減差額⑪(⑦+⑩)	29,386,091
前期繰越活動増減差額⑫	182,615,194
当期末繰越活動増減差額⑬(⑪+⑫)	212,001,285
その他の積立金取崩額⑭	0
その他の積立金積立額⑮	37,000,000
次期繰越活動増減差額⑯(⑬+⑭-⑮)	175,001,285



令和 4 年度 貸借対照表

R5.3.31 現在

資産の部	
流動資産	83,194,571
固定資産	824,175,262
基本財産	611,930,993
その他の固定資産	212,244,269
資産の部合計	907,369,833

負債の部	
流動負債	11,646,460
固定負債	10,317,772
負債の部合計	21,964,232

純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	198,918,316
その他の積立金	186,800,000
次期繰越活動増減差額	175,001,285
純資産の部合計	885,405,601
負債及び純資産の部合計	907,369,833

♡♡♡♡ 多くの方々のご厚志に深く感謝いたします。🎁🎁🎁🎁 (R5.6～9 順不同・敬称略)

【寄附】(R5.06.01～09.30)

(株)キウイボム代表取締役社長中野裕史郎、宇田春枝、食の劇場支配人岡本裕介、いちごスタジオ、タカギ衣料店、小笠原善美、(株)香川ヤクルト販売、村尾浩二郎、東町本若、三和電業株式会社高松支店、合田商会代表合田裕信、(株)旭商工代表取締役菅谷政也、マスウド・ソバハニ、檀原昭二、平井一也、佃文子、神内順子、信光寺多田葉子、清滝山栄光寺池田宗弘、小川晃弘、吉田剛久、赤松道子、門司一徹、藤井敏孝、香西真由美、小川彗つ、上羽彰慧、Sassyangel、(株)日光商事、(有)完土代表取締役完土剛、大村眞道、宮宇地すみ子、香川県露店商業協同組合、公益財団法人砂原児童基金、生活協同組合コープ自然派しこくオリーブセンター、京鐘東京銀座辻星野、匿名希望の皆様

【慰問・ボランティア】

香川県理容組合高松支部(散髪奉仕)、人形のあづま(一日園長行事)、東町本若(獅子舞)、香川県露店商業協同組合(露店)、岡雅洋(学習)、新谷富子(学習)、ソバハニ(保育)



～後援会員募集～

讃岐学園後援会は、子どもたちの安心・安全な生活を物心両面で支援しています。

未来ある子どもたちが、笑顔あふれる、充実した生活が送れますよう、皆様のお力添えをお願いします。

年会費 法人会員 1口 5,000円 個人会員 1口 2,000円

○ゆうちょ銀行 01650-2-5168 <口座名>讃岐学園

○百十四銀行本店営業部 普通預金 0119413

<口座名>社会福祉法人弘善会児童養護施設讃岐学園後援会事務局長 折目 勝文

※銀行振込みは御氏名のみ標記のため、領収書等必要な方は、お手数ですが、学園迄ご連絡が必要です。

※広報などへの非公表を希望される方はお申し出ください。

令和5年6～9月にご協力いただいた会員様

小川彗つ、梅谷博之、キムラヨシオ、オオエヤスオ、コバヤシマキ、



ありがとう

社会福祉法人香川県共同募金会より、助成を受け、裏庭に遊具を設置する事ができました。

老朽化の進んだ遊具を撤去し、寂しかった裏庭が 一気に賑やかになりました。

子ども達の元気な声と笑顔が溢れています。



編集後記

コロナが少し落つたこともあってか、夏以降、なつかしい卒園生たちの来園の機会が増え、昔話に花を咲かせることが出来ました。

「施設に居た頃は、ルールが厳しい、職員がうざい、と苦しく思っていた生活も、今となっては、守ってもらっていたありがたさがわかる。」と、どの子も同じ様な話をしており、リップサービスが含まれていたとしても、職員にとっては、大変励まされる言葉でした。「あの頃は、反抗ばかりして、迷惑かけてごめんね」そんな言葉が聞かれるのも、社会に出て様々な経験や新たな出会いを重ねてのことでしょう。心身ともに、逞しくなって会いに来てくれた子ども達が、頼もしく見えました。うれしい再会をありがとうございます。ここ、讃岐学園からエールを送っています。

編集委員

斎藤・中谷・東口

讃岐学園ホームページをスマホで見よう

下記のQRコードからアクセスできます。

施設案内、理念や取組み、生活の様子、広報紙、求人情報、第三者評価の結果などが閲覧できます。